



令和3年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会

山形県ラウンド 開催要項

- 主催 公益財団法人日本バレーボール協会
共催 一般社団法人日本バレーボールリーグ機構
主管 山形県バレーボール協会 米沢地区バレーボール協会
協賛 全日本空輸株式会社、久光製薬株式会社、日清製粉グループ、丸大食品株式会社、
日本生命保険相互会社、野村ホールディングス株式会社、アシックスジャパン株式会社、ミズノ株式会社
- 1 開催趣旨 本大会は、本協会に登録する全てのチーム(中学生以上)が、1年度を通して「天皇杯」「皇后杯」の名を冠するに相応しい、日本の6人制バレーボール最高のチームとなる栄誉を競うと同時に、バレーボールの競技を通じて体力、人格、精神力の向上を目指し、また日本バレーボール界の発展と普及に寄与することを目指して開催する。
- 2 開催期間 令和3年 7月10日(土)～7月11日(日)
- 3 会場 南陽市民体育館 〒999-2232 山形県南陽市三間通1096 TEL 0238-49-2600
- 4 参加資格 令和3年度公益財団法人日本バレーボール協会個人登録規定により、有効に登録されたチームおよび選手で構成された中学生以上のチーム。
- 5 競技規則 令和3年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。
- 6 競技方法 原則として3セットマッチのトーナメント戦とする。※優勝チームはブロックラウンドへ出場する。
東北ブロックラウンド: 9月11日(土)～9月12日(日) 宮城県 利府町 多賀城市
- 7 使用球 天皇杯・皇后杯大会オリジナル球を男女4球ずつ実行委員会から支給し準決勝・決勝より使用する。
男子:モルテン製(V5M5000)／女子:ミカサ製(V300W)
※上記以外は通常のモルテン・ミカサボールを使用する。
- 8 チーム構成 チーム編成: 1チームは部長、監督、コーチ、マネージャー、トレーナー各1名、(チームスタッフ)、選手18名以内とする。必要に応じてドクター、通訳1名を加えることができる。申込み後の選手変更は競技者番号を含めて認められない。なお、各試合の役員・選手14名は、試合ごとにエントリーする。
監督・コーチ・マネージャーのうち1名以上は公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者に基づく、公認バレーボールコーチ1・公認バレーボールコーチ2、公認バレーボールコーチ3、公認バレーボールコーチ4の有資格者とする。
- 9 参加申込 所定の用紙に必要事項を記入し、締切期限までに参加料を添えて、下記へ申し込むこと。
<提出書類>①申込書 ②チーム加入選手一覧(JVAMRS抽出) ③参加料(10,000円)
〒992-0046 米沢市信夫町6-31 田井治 敬史(米沢地区競技委員長)
- 10 申込方法・締切 令和3年 6月 20日 (日)
- 11 代表者会議 令和3年 7月10日(土) 9時30分～ 会場:南陽市民体育館 会議室
- 12 組み合わせ 山形県バレーボール協会競技委員会が主管協会とで行い、関係機関に連絡する
- 13 開会式 令和3年 7月10日(土) 10時～(予定) 会場:南陽市民体育館
- 14 表彰・閉会式 1位～3位まで表彰を行う。閉会式は実施しない。
- 15 その他
 - ・大会参加者は事前に健康診断を受けること。選手の健康管理については、チーム及び個人の責任としてこれを受け止め、充分留意すること。なお、競技中の負傷に付いては応急処置は行なうが以後の責任は負わない。
 - ・参加者は全員スポーツ傷害保険に加入すること。
 - ・部長・監督・コーチ・マネージャーは規定のマークを左胸部に付けること。
 - ・補助役員(線審・点示・記録)は参加チームで実施する。
 - ・大会参加申込書に記載された代表者の個人情報、大会関係書類の送付の際に利用し、ベンチスタッフ及び各選手の氏名、競技者番号、身長等を大会プログラムに掲載いたしますのでご了承ください。
 - ・新型コロナウイルス感染症防止対策として「大会運営ガイドライン」に沿った内容で大会運営を行います。ガイドラインは、山形県バレーボール協会HP <https://yamagata-volleyball.com/> をご覧ください

※ 本大会の問合せ

米沢地区バレーボール協会 峰田 徳昭 (TEL:090-2365-6630 平日9:00～19:00) まで

お問い合わせ及び資料返送先

【公益財団法人 日本バレーボール協会 天皇杯・皇后杯事務局】 担当/国内業務部

TEL:03-5786-2100(平日10:00～16:00)

E-mail:tkjimu@jva.or.jp